

## 6年生。思い出に残る修学旅行



長崎での平和学習

10月26、27日の1泊2日で、6年生は、大津南小学校と合同で、長崎への修学旅行を行いました。

新型コロナウイルスの感染も減り、予定通り修学旅行ができました。

天候にも恵まれ、秋晴れの晴れ渡った中で行うことができました。

1日目に平和学習。ホテルでの集団行動。2日目は、出島学習とハウステンボスでの班自由行動。子どもたちは、大変立派な生活態度でした。



大津南小での結団式



城山小での平和講和



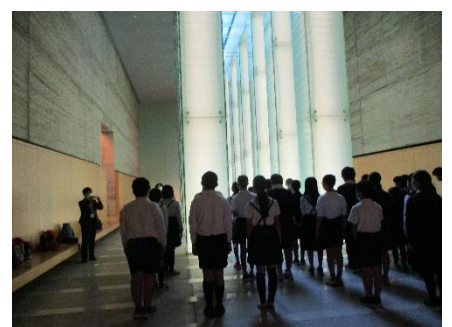
城山小での平和学習



長崎平和公園



平和フィールドワーク



平和集会

城山小学校では、八木道子さんに貴重な被爆体験をお話ししていただきました。命の大切さと平和を守るための努力が重要であることを学びました。また平和学習ボランティアの方々の案内で、フィールドワークによる平和学習ができました。原爆資料館にある追悼空間の中で、厳粛に平和集会も行いました。

## 修学旅行2日目も快晴。



出島学習



ハウステンボス

修学旅行2日目。最初に出島に行きました。出島は、江戸時代の鎖国政策の中で、唯一外国との玄関口になった所。最初はポルトガル。のちにオランダとの交易が行われた場所であり、日本初の人工の島です。今のお金で4億円かけて作られたそうです。ここから、砂糖が輸入されて、カステラなどがポルトガルから伝えられ、長崎の特産品となっています。

ハウステンボスは、オランダ語で「森の家」という意味だそうです。水車やお花畑、整備された水路や建物など、まるでヨーロッパに来たような感覚でした。子どもたちは、班ごとに行動して、昼食とVRや乗り物など、自由時間を楽しみました。

## 1年生で研究授業を行いました。



どうしておかあさんは、げんきになったのかな？ いっぱい手をあげて、たくさん発表できました。

10月29日の2校時に、1年生国語の研究授業を行いました。単元名は、「サラダでげんき」。たくさんの動物たちが、お母さんを元気にするために、サラダにいろいろな具材を持ってきてくれます。「どうしておかあさんは、げんきになったのでしょうか」。子どもたちは、よく考え、話し合い、書き、たくさん発表できました。とても良い授業でした。